

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はなみずき放課後デイサービスHOPE		
○保護者評価実施期間	令和6年12月25日		令和7月1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和6年12月25日		令和7月1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにわかりやすい構造化された環境整備をしている ・視覚支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンフロアではあるが、プレイエリア、ワークエリア等に分けている ・物やスケジュール等ごとに色に意味合いも持たせ、色を分けて掲示している ・玩具箱に入っている玩具の写真を貼り、自主的に片付けを行えるよう環境整備している 	<ul style="list-style-type: none"> ・TEACCHプログラムを用いてより分かりやすい視覚支援の作成を進めていきたい
2	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人までとはいかないが、他事業所に比べて敷地が広い為、屋外での集団活動が充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じながら畑で農耕作業を行うことができたり、一日の流れのなかに身体を動かす時間を設けていたりしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動プログラムを組み込む際は外にもルール等を掲示することを外の場合でも視覚支援を充実していきたい
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流が少ない ・放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の高齢化に伴う交流の困難さ ・施設外へと交流する機会が、年に数回と少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団プログラムで、草刈り作業・除草作業や清掃活動を取り入れ、地域住民と挨拶するきっかけを作り、地域住民との交流の機会を増やしていきたい
2	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を保護者に向けて、周知されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・SMSやHP等を積極的に活用していない ・保護者に向けての定期的な情報提供は通信に記載している状況 ・HPよりは通信の方が保護者は情報を確認している傾向がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、マニュアルを策定した場合にはまず事業所内の通信に記載し、次にSMSやHP等にアップする流れを取り入れていきたい
3			